

# PRESS RELEASE

ピースボート災害ボランティアセンター

〒169-0075



東京都新宿区高田馬場 3-13-1-B1

TEL: 03-3363-7967

FAX: 03-3362-6307

MAIL: kyuen@pbv.or.jp

URL: pbv.or.jp/

東日本大震災 ピースボート 被災者支援・復興支援 関連情報

2011年7月21日

## 支援物資(LEDソーラーランタン)5,300台を宮城県石巻市へ寄贈 7月27日、サンユレック株式会社からピースボートへの引渡し

国際交流NGOピースボートでは、宮城県石巻市を中心とした被災者支援・復興支援を続けています。このたび、サンユレック株式会社のご協力により、LEDソーラーランタン約5,300台を譲り受け、石巻で被災者の皆様に役立てていただくことになりました。

サンユレック株式会社によると、このLEDソーラーランタンは、太陽光発電を利用したもので、震災後ろうそくの明かりだけで生活していた様子や乾電池なども不足した事情を受け、新しく開発されたものとのことです。石巻市は、自然エネルギーへの関心が非常に高く、ピースボートとしても震災復興に向けて、環境に優しいまちづくりにつながっていく一つのきっかけになればと思います。

企業とNGO・NPOが互いの強みを生かして被災地支援を行うことで、わずかでも被災者の皆様に「希望の灯」がともることを願ってやみません。同時に、被災地での自然エネルギー利用の一例として、多くの方に関心をもっていただければと考えます。つきましては、下記の通り「引き渡し式」を行います。ご多忙とは存じますが、ぜひ取材いただき、広く報じていただければ幸いです。

### 記

日時 : 7月27日(水)13:00~

場所 : 石巻専修大学 石巻災害復興支援協議会(宮城県石巻市南境新水戸1)

出席者 : ピースボート山本隆、代表取締役社長 奥野敦史 他

提供物品 : LEDソーラーランタン 5300台(大型ポータブルタイプ+小型ハンディータイプ)

※ 別紙にて、サンユレック株式会社社長からの資料(2枚)も送付いたします。

#### ● サンユレック株式会社

「世界に貢献する企業」をめざし、エレクトロニクスや建設・建築などの分野で樹脂配合メーカーとして世界的に高い評価と信頼を得る。高輝度LED用樹脂、ハイブリッドカー電装部品用樹脂、環境対応型防食塗料、複層ガラス用シール材など、人と地球に優しい製品の開発に携わる。2006年には『元気なモノ作り中小企業300社』(経済産業省)に選出され、また2007年には第2回『ものづくり日本大賞』(経済産業省、国土交通省、厚生労働省、文部科学省)の優秀賞を受賞。会社設立1963年。本社所在地: 〒569-8558 大阪府高槻市道鶴町3丁目5番1号 TEL 072-669-1231(管理部) FAX 072-669-3893

#### ● このリリースに関するお問い合わせは、

ピースボート災害ボランティアセンター

TEL: 03-3363-7967 FAX: 03-3362-6307 MAIL: kyuen@pbv.or.jp

## 【別紙1】ごあいさつ

此の度の未曾有の東日本大震災で犠牲や被災された方々に、心よりご冥福とお見舞いを申し上げます。

当社は1963年の設立以来、絶え間ない技術・開発を実践して、厳しい生産管理体制により逐次実績を延ばし、エレクトロニクス(電子・電気・半導体)や建設・建築などの分野で樹脂配合メーカーとして世界的に高い評価と信頼を得ており、様々なニーズに応えるとともに、高輝度LED用樹脂、ハイブリッドカー用電装部品樹脂、上下水道施設用ライニング材、無溶剤型塗料、水処理フィルターシール材など環境やさしい製品の開発にも注力し、さらなる特性の向上、高機能化およびコスト低減に努め、世界に貢献する企業を目指しております。

さて、震災時、わたしは、東京に居りまして大きな揺れを感じ、首都圏のパニックに遭遇しましたが、その後のテレビやインターネットのニュースで、東日本の震災と大津波の信じられない悲惨な映像を目の当たりにして、本当に言葉を失いました。

全国から、被災された方々に様々な支援の手が差し延べられる中、「当社も何か出来ないか」と社員からの声が集まり、いろいろと相談致しました。

募金も良いですが、「本当に被災者の方々の必要なものに使われるのか?」、「我々の心が伝わるのかが今ひとつピンと来ない。」と言う意見もあり、「それなら何かを送ろう!」と言う事になりました。

当初、被災地は電気も止まって、真っ暗な中「ろうそく」の明かりで夜を過ごされていました。当社は「LEDの封止樹脂を製造している会社なので、LEDを使ったランタンを送れば、僅かな灯りでも役に立つ」という事になりました。

その後、福島原子力発電所の事故で電力不足から、懐中電灯に使う乾電池の品不足が騒がれましたので、電源には太陽光発電を利用した「LEDソーラーランタン」をサンユレック(株)社員一同で被災地の皆さんに送る事に決定しました。

今では電気も通じ、夜、家の中は明るくなっていると思いますが、すべての道に街灯が整備されているとは思いません。もし、夜間に余震で真っ暗な中、あのガレキを避けて避難する場合、今回の「LEDソーラーランタン」が「いざと言う時」役立つのではないかと思います。

そこで、その様なLEDランタンが中国で製造されている情報があり、ポータブルタイプ(大型)とハンディータイプ(小型)の見本を取り寄せました。

大型のものは約1キログラム以上あり、小型のものなら子供さんでも持てると思い、2種類を選定し、両方で8000台の購入準備に入りました。ところが、小型のものは、点灯制御が不十分で、部品不良も多く、日本の品質レベルにほど遠い事が判明しました。そこで、当社よりLEDの専門家が数名が現地に7回出張して、当社のLED技術をベースに、改良を指示、その修正の確認、また、製品の検品などを実施して、ようやく仕上がりました。

そのため、当初の計画より、1ヶ月以上遅れましたが、被災地に送る運びになりました。

我々も苦労したつもりですが、被災された方々のご苦労に比べれば、全く比べものになりません。これから、復旧・復興に向けてまだまだ時間を要すると、思いますが是非とも頑張ってくださいと思います。これに限らず被災地復興の為、当社としてご協力出来る事を見つけて行きたいと存じます。

(サンユレック株式会社 代表取締役 社長 奥野 敦史)

【別紙2】引き渡し製品紹介



LEDソーラーランタン（ポータブルタイプ）



LEDソーラーランタン（ハンディタイプ）